SONY®

Monitor_ AutoWhiteAdjustment

USER'S GUIDE

Version 1.4

目次

はじ	めに	З
	概要	.3
	対応機器	.3
	動作環境	.3
準備		4
	ミドルウェア、プローブのドライバーをインストー	-
	ルする	.4
	Monitor_AutoWhiteAdjustment をセットアップす	
	δ	.4
	コンピューターとモニターを接続する	.5
	コンピューターとプローブを接続する	.5
操作		6
	Monitor_AutoWhiteAdjustment を起動する	6
	ネットワーク設定をする	.7
	モニターを選択する	.7
	プローブ設定をする	10
	色温度を測定する	11
	モニターの色温度を自動調整する	12
	異なる表示デバイス間で色合わせを行う際のご注	
	意	14
付録	意 1	14 6
付録	意 1 エラーメッセージー覧	14 6

はじめに

概要

Monitor_AutoWhiteAdjustment は、モニターの色温度お よび輝度を測定、調整するためのソフトウェアです。 このソフトウェアには次の機能が搭載されています。

- モニターの色温度および輝度の測定
- プローブを使用した色温度および輝度の調整

対応機器

本ソフトウェアは次の機器に対応しています。(2015年7 月現在)

モニター

BVM-E/F シリーズ

- BVM-E250
- BVM-E250A
- BVM-E170
- BVM-E170A
- BVM-F250
- BVM-F250A
- BVM-F170
- BVM-F170A
- BVM-X シリーズ
- BVM-X300

PVM シリーズ

- PVM-2541
- PVM-2541A
- PVM-1741
- PVM-1741A
- PVM-741
- PVM-740

PVM-A シリーズ

- PVM-A250
- PVM-A170
- LMD シリーズ
- LMD-4251TD
- LMD-2451TD
- LMD-2451W(中国モデル以外):
 シリアルナンバー 3000998以降
- LMD-2451W(中国モデル):
 シリアルナンバー 5000164 以降
- LMD-2051W
- LMD-1751W
- LMD-2341W
- LMD-2041W

- LMD-1541W
- LMD-941
- LMD-940W(中国モデル以外):
 シリアルナンバー 3004727以降
- LMD-940W(中国モデル):
- シリアルナンバー 5000637 以降

LMD-A シリーズ

- LMD-A240
- LMD-A220
- LMD-A170

プローブ

X-Rite 社製 ilPro、ilPro2 Konica Minolta 社製 CA-210、CA-310、CS-200 DK-Technologies 社製 PM5639/06 Photo Research 社製 PR-655、PR-670 Klein Optical Instruments 社製 K-10 JETI 社製 specbos 1211

動作環境

本ソフトウェアには、次の条件を備えたコンピューター と動作環境が必要です。

オペレーティングシステム (OS)

Microsoft Windows 7 SP1 の Professional Edition または Ultimate Edition(64bit 版、32bit 版) Windows 8 または Windows 8 Pro(64bit 版、32bit 版) Windows 8.1 または Windows 8.1 Pro(64bit 版、32bit 版)

CPU

Intel Celeron 1GHz 以上

メモリー

1GB 以上

ディスプレイ

1024 × 768 以上 (High Color 16bit 以上)

USB ポート

USB2.0 以上

ハードディスク

100MB 以上の空き容量があること

ネットワーク

インターネットに接続できる環境

ミドルウェア

.NET Framework 4.5.2 (マイクロソフト社のウェブサイ トよりダウンロード可能)

ご注意

動作環境はすべてのコンピューター、OS について動作を 保証するものではありません。

このユーザーガイドに記載されているソフトウェアの画 面は、Windows 7 を使用した説明のためのサンプルで す。実際の画面とは異なることがありますので、ご了承 ください。

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび ユーザーガイドの内容の全部または一部を複写するこ と、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、 著作権法上禁止されております。

©2012, 2014-2015 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、また は第三者からのいかなる請求についても、当社は一切そ の責任を負いかねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替 えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更す ることがありますが、ご了承ください。

- Microsoft、Windows、Windows 7、Windows 8 およびWindows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の、 米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel は、米国 Intel Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。



ミドルウェア、プローブのドライ バーをインストールする

.NET Framework 4.5.2 (マイクロソフト社のウェブサイトよりダウンロード可能)をコンピューターにインストールしてください。 以下のプローブを使用する場合は、別途ドライバーまたはソフトウェアをインストールする必要があります。

i1Pro、i1Pro2

X-Rite 社 ilPro に付属のアプリケーションソフトウェアま たは ilPro、ilPro2 用のデバイスドライバー

CA-210、CA-310

Konica Minolta 社が提供している CA-SDK ソフトと CA-210、CA-310 用のデバイスドライバー

CS-200

Konica Minolta 社が提供している CS-200 用のデバイスド ライバー

PR-655、PR-670

Photo Research 社が提供しているデバイスドライバー

K-10、specbos1211

FTDI 社が提供している USB →シリアル変換チップ用デ バイスドライバー

Monitor_AutoWhiteAdjustment をセットアップする

本ソフトウェアを使用ご希望の際は、お買い上げ店また はソニーの営業担当者にご相談ください。

ご注意

- 本ソフトウェアのインストールには、Windows 管理者 権限が必要です。管理者アカウントでログオンしてくだ さい。
- お使いの環境によっては、インストール時にWindows ファイアウォールやウイルス対策ソフトウェアの許可設 定が必要となることがあります。Windowsファイア ウォールの警告が表示された場合は、メッセージに従っ て「ブロックを解除」を選択してください。または、コ ントロールパネルのWindowsファイアウォールで、 Monitor_AutoWhiteAdjustmentを例外設定にしてくだ

さい。ウイルス対策ソフトウェアをご利用の場合は、マ ニュアルに従って対応してください。

- Monitor_AutoWhiteAdjustment.exe をダブルクリックして、インストーラーを起動する。
- **2** 使用する言語を選択して「OK」をクリックする。

Monitor	AutoWhiteAdjustment - InstallShield Wizard
	インストールで使用する言語を次の中から選択して下さい。
	日本語 ◆
	OK(O) キャンセル

インストール画面へ移ります。そのままお待ちくだ さい。

 画面に表示されるセットアップウィザードのメッ セージに従ってソフトウェアをインストールする。



使用許諾契約に関する文面が表示されたら、よくお 読みいただき、「使用許諾契約の条項に同意します」 を選択して、インストールを続行してください。 4 「Monitor_AutoWhiteAdjustmentは正常にインストー ルされました」の画面が表示されたら、「終了」をク リックする。

Monitor_AutoWhiteAdjus	tmentのインストール Monitor_AutoWhiteAdjustment ほ正常にインストールされました。 Monitor_AutoWhiteAdjustment を記録するには、「スクー トリズニューから「オペてのプログラム」 > 「Sony Monitor Utilities」 > 「Monitor_AutoWhiteAdjustment」を選択し 下下さい。 「彩行」をグリックすると、インストーラを終了します
	< 葉刻(型) 終了(F) 未安計初期

これで、インストールは完了です。

コンピューターとモニターを接続す る

ネットワークを介してコンピューターとモニターを接続 する LAN 接続と、コンピューターとモニターの LAN 端 子を直接 LAN ケーブルで接続する Peer to Peer 接続の 2 種類が可能です。 接続方法について詳しくは、モニターの取扱説明書をご

コンピューターとプローブを接続す る

ご使用になるプローブの取扱説明書を参照して、コン ピューターとプローブを USB ケーブルで接続してくださ い。

ご注意

覧ください。

 次のチップセットを使用したコンピューターに接続する と、本ソフトウェアで CS-200 を認識できない可能性が あります。

Intel (R) 5 Series/3400 Series Chipset Family

- PR-670をコンピューターに接続して使用するときは、 あらかじめ PR-670のアパーチャー設定で、1°を選択 しておく必要があります。
- DK-Technologies 社製 PM5639/06をコンピューターに接続して使用するには、DK-Technologies 社製の PC 接続ケーブルを使用するか、プローブに電源を供給する特殊なシリアル通信ケーブルを用意する必要があります。

結線図



操作

ご注意

- 本ソフトウェアはコンピューターのスリープモードには 対応しません。本ソフトウェアを使用するときはコン ピューターがスリープモードにならないように設定して ください。もし、本ソフトウェアの起動中にコンピュー ターがスリープモードになった場合は、本ソフトウェア およびプローブを再起動してください。
- LMD-4251TD、LMD-2451TD は必ず 2D/3D 選択で 2D を 選んで本ソフトウェアの調整を行ってください。また、 下記モデルでは必ず 2D/3D 選択で 2D を、3D オフセッ トでオフを選んで本ソフトウェアの調整を行ってください。

LMD-2451TD (中国モデル以外):

- シリアルナンバー 3000624 以降
- LMD-2451TD (中国モデル):

シリアルナンバー 5000050 以降

LMD-4251TD (中国モデル以外):

シリアルナンバー 3100363 以降 LMD-4251TD (中国モデル):

シリアルナンバー 5100149 以降

3D で調整を行った場合は、上記設定に変更して再度調 整を行ってください。2D/3D および 3D オフセットの切 換方法はモニター本体の取扱説明書をご覧ください。

Monitor_AutoWhiteAdjustment を起動する

コンピューターの「スタート」メニューから「すべての プログラム」>「Sony Monitor Utilities」> 「Monitor_AutoWhiteAdjustment」を選択すると、ソフト ウェアが起動して、起動画面が表示されます。

File Maintenance	нер					
Setup			Measured Data			
Network Network Adapter	Select		Color Temp.	x		
Connection Type	C Peer to Peer	Reconnection	Luminance	y Y	Star	Measuring
Monitor Selection	CAN		Target			
Monitor List	Select		Model Name Color Temp. —	Not Connec	ted	
Monitor ID		Connect		× 0.313		
IP Address				y 0.329		
Probe Setup			Set to	Measured I	Data 🔹	
Probe	 	•	Reference	Auto Uff	set	More into
Status	Not Connected	Calibrate	Luminance —	Y 100 Y 2.7	(Highlight) (Lowlight) /Bright Hold	On

ご注意

- BVM-X シリーズでは、Color Temp. 設定が D65、D93、 D55、D61、DCI の場合は自動調整が開始されません。 「User Preset Setting」メニューの「Color Temp.」で User1、User2、User3、User4、User5 のいずれかを選 択してください。
- BVM-X シリーズでは、User Preset1 または、Color Temp. の User1 にパスワードロックが設定されている 場合は「Security」メニューの「Password Lock」の設 定を Off にしてください。
- PVM-A、LMD-Aシリーズは、自動調整を開始したとき にユーザー2が自動的に選択され、調整結果が保存され ます。ユーザー1に調整値を入れる場合は、自動調整後 にユーザー2の調整値をユーザー1に手動でコピーして ください。

ネットワーク設定をする

モニターの接続環境に合わせてネットワークアダプター を選択します。

■ 「Network Adapter」の「Select」をクリックする。

ネットワークアダプター画面が表示されます。

lamn	28	IP Address	Subnet Mask
ーカルエリア構成			ALC: NO.

ご注意

表示されるネットワークアダプターはご使用の環境 によって異なります。

 モニターが接続されているネットワークのネット ワークアダプターを選択する。

選択したネットワークに接続されているモニターの 検知が始まります。

ご注意

ここではコマンドプロンプトで "ipconfig /all" コマンドで IP アドレスおよびサブネットマスクが表示されるネットワークアダプターのみ表示されます。使用したい

ネットワークアダプターが表示されない場合はネット ワークを確認してください。

 本ソフトウェアでネットワーク設定完了後に選択した ネットワークアダプターの IP アドレスなどの設定をプロパティで変更した場合、設定したネットワークアダプ ターが無効になります。再度ネットワークアダプターの 設定を行ってください。

モニターを選択する

モニターリストから選択(推奨)

ネットワークアダプターの設定を行うと、プログラムが 選択したネットワークに接続されているモニターの検知 を開始し、Monitor List の「Select」ボタンが有効になり ます。

File Maintenance	Help				
Setup			Measured Data		
Network			Color Temp.	x	
Network Adapter	Select			Y	
Connection Type	C Peer to Peer	Reconnection	1	v	
	LAN		Luminance		Start Measurin
Monitor Selection			Target		
Monitor List	Select		Model Name	Not Connecte	đ
Monitor ID		Connect	Color Temp. —	8.949	
ID Address				X 0.313	
ii Piddiesa				y 0.525	
Probe Setup			Set to	Measured Dat	a •
Probe		•	Offset	Auto Offset	More Inf
Status	Not Connected		Reference		
		Calibrate	Lummance	Y 100 (Highlight)
				Y 2.7 (Lowlight)
				Contrast/B	ight Hold On
				U Contrast/D	ight Hold On

「Select」をクリックする。

モニターリスト画面が表示され、検知されたモニ ターが ID 番号順で表示されます。

モニター検知前

Monitor	r List	
1D	Model Name	IP Address
Sh	ow ID	OK Capoel
	410.1475 J	





モニターリスト画面の表示中に新しいモニターを検 知した場合には、検知した順に追記して表示されま す。

2 リストから調整したいモニターを選択し、「OK」を クリックする。

選択したモニターとの接続が開始されます。 モニターリスト画面の「Show ID」ボタンをクリッ クすると、選択したネットワークに接続されている モニターの画面上に、設定されている Monitor ID が 表示されます。

ご注意

本操作では、モニター本体が以下の設定になっている必要があります。

BVM-E/F シリーズ

本体側面の NETWORK スイッチが LAN 側になってい ること

BVM-X シリーズ

メニューにて「Serial Remote」設定が以下になってい ること Connection:LAN

PVM および LMD シリーズ

メニューにて「リモート」設定が以下になっていること シリアルリモート:イーサーネット コネクション:LAN

PVM-A および LMD-A シリーズ

- メニューにて「リモート」設定が以下になっていること シリアルリモート:オン コネクション:LAN
- 一定時間存在を確認できないモニターは、モニターリスト画面のリストから削除されます。この削除が発生した場合は、モニターリストはモニター ID 番号順に並び替えられます。

Monitor ID から選択

ネットワークアダプターの設定が完了している状態で、 「Network」の「Connection Type」で「LAN」を選択し ている場合は、Monitor ID を指定してモニターに接続す ることができます。

		Measured Data		
		Color Temp.	x	
Select			v	
O Peer to Peer	Reconnection		,	
O LAN		Luminance	Y	Start Measuring
0.041		Target		
Select		Model Name	Not Connected	
		Color Temp		
<u> </u>	Connect		× 0.313	
			y 0.329	
		Set to	Measured Data	-
F		Offset	📰 Auto Offset	More Info
	•	Reference		-
Not Connected		Luminance		
	Calibrate]		Y 100 (Highli	ght)
			Y 2.7 (Lowlin	ght)
			Contrast/Bright	Hold On
	Select Peer to Peer LAN Select Not Connected	Select Peer to Peer Reconnection LAN Select Connect Not Connected Cafbrate	Select Color Temp. Piers to Pierr Reconnection Luminance Iarget Model Name Color Temp. 1 Connect Not Connected Offset Reference Luminance	Select Y Pler to Pler Reconnection Law Target Model Name Not Connected Color Temp. x Y Luminance Y Y Select Color Temp. 1 Connect X Y Select Color Temp. X Y Y 313 Y 0.313 Y 0.329 Set to Measured Data Offset Auto Offset Reference Luminance Y 2.7 Y 2.7

Monitor ID」に有効な値 (1 ~ 99) を入力する。

「Connect」ボタンが有効になります。

2 [Connect] prime pr

設定した Monitor ID を持つモニターを検索します。 検索中は「Searching for monitor. Please wait.」の メッセージが表示されます。 設定した Monitor ID を持つモニターが検知される と、接続が開始されます。

ご注意

同一ネットワーク上に同じ Monitor ID を持つモニターが あるときは、先に検知をしたモニターと接続します。そ のため、同一ネットワーク上にあるモニターには異なる Monitor ID を設定してください。

Peer to Peer 接続を選択する場合

モニターとコンピューターが Peer to Peer 接続されてい て、選択したネットワークアダプターが以下の条件を満 たす場合、Peer to Peer 接続を選択できます。

- 同一ネットワーク上に接続されているモニターは1台だけであること
- IP アドレスが「192.168.0.X」(X は 2 ~ 254)
- サブネットマスクが 255.255.255.0

ご注意

- BKM-16R を同時に接続している場合には、BKM-16Rの IP アドレス(デフォルトでは「192.168.0.100」)は使用 できません。
- 本操作では、モニター本体が以下の設定になっている必要があります。

BVM-E/F シリーズ

本体側面の NETWORK スイッチが PEER TO PEER 側 になっていること

BVM-X シリーズ

メニューにて「Serial Remote」設定が以下になってい ること

Connection : Peer to Peer

PVM および LMD シリーズ

メニューの「リモート」設定が以下になっていること シリアルリモート:イーサーネット コネクション:PEER TO PEER

PVM-A および LMD-A シリーズ

メニューの「リモート」設定が以下になっていること シリアルリモート:オン コネクション:Peer to Peer

「Connection Type」で「Peer to Peer」を選択すると、 Peer to Peer 接続が開始されます。

ご注意

Peer to Peer 接続が失敗し、再度選択を試みる場合には 「Reconnection」ボタンをクリックしてください。

モニターとの接続の確認

モニターとの接続が確立すると、接続画面が表示されま す。「OK」をクリックしてください。

接続画面の表示文言

- LAN 接続の場合(Monitor ID が X の場合) Connected to Monitor ID:X
- Peer to Peer 接続の場合 Connected to Monitor : Peer to Peer

以上で、モニターの選択は完了です。

各種設定による画面の違い

接続方法および接続モニターの種類と設定状態によって、 画面の表示が異なります。

BVM-E/F シリーズのモニターと接続している場合 画面例

接続方法: LAN

モニターの設定:XYZ 信号入力設定、Picture Preset (D-Cine)



- Model Name:接続したモニターのモデル名が表示されます。
- 2 Monitor Selection: Peer to Peer 接続のときは、この 部分は非表示になります。
- Information: Format 情報は、入力信号が XYZ 信号の ときに表示されます。
 Picture Preset 情報は、Picture Preset が Picture (D-Cine)のときに表示されます。

BVM-X シリーズのモニターと接続している場合 画面例

接続方法:LAN

モニターの設定:Color Temp.: User1、User Preset: User Preset1





4 Information : Color Temp. 情報は、接続したモニター の Color Temp. 設定が表示されます。 User Preset 情報は、接続したモニターの User Preset 設定が表示されます。

● 輝度設定の表示がBVM-E/Fシリーズの場合と異なり ます。

PVM、LMD シリーズのモニターと接続している場合 画面例

接続方法: LAN

File Maintenance	Help				
Setup			Measured Data		
Network			Color Temp.	x	
Network Adapter	Select			У	
Connection Type	 Peer to Peer LAN 	Reconnection	Luminance	Y	tart Measuring
Monitor Selection -			Target		
Monitor List	Select		Model Name	LMD-1751W	
			Color Temp.		
Monitor ID	16	Connect		x 0.313	
IP Address	152, 168, 3, 18			y 0.329	
Probe Setup			Set to	Measured Data	•
Probo	Ē		Offset	Auto Offset	More Info
Status	Not Connected		Reference	CRT/LCD	*
		Calibrate	Luminance	the second second	
				Y 150 (Highligh	nt)
				Y Adjustment	
			Input Signal	SDI/HDMI YCbCr	•

輝度設定の表示が BVM-E/F シリーズの場合と異なりま す。「Input Signal」ドロップダウンリストより入力してい る信号を正しく選択してください。

PVM-A、LMD-A シリーズのモニターと接続している場 合

画面例

接続方法:LAN

Setup		Measured Da	ita	
Network Network Adapter	Select	Color Temp.	x v	
Connection Type	 Peer to Peer LAN 	connection Luminance	Ŷ	Start Measurin
Monitor Selection		Target		
Monitor List	Select	Model Name Color Temp.	LMD-A220	
Monitor ID	7	Connect	x 0.313	
IP Address	192,188,3.7		y 0.329	
Probe Setup		Set to	Measured Data	•
Probe	<u>[</u>	Offset	Auto Offset	More Info
Status	Not Connected	Reference Luminance	LCD BVM-L	. *
		Calibrate	Y 100 (Hit	ahlight)
			Y Adjustment	
				-

輝度設定の表示が PVM、LMD シリーズの場合と異なり ます。

プロ―ブ設定をする

プローブを使用して色温度自動調整または色温度計測を するには、プローブの選択と、必要に応じてプローブの キャリブレーションを行う必要があります。 使用可能なプローブについては、3ページをご覧くださ 6.1

プローブの選択

「Probe」の右の ・ をクリックすると、選択可能なプロー ブがリスト表示されます。

-ile Maintenance	нер			
Setup		Measured Data		
Network		Color Temp.	x	
Network Adapter	Select		У	
Connection Type	Peer to Peer Reconnection	Luminance	Y	Start Measuring
Monitor Selection -		Target		
Monitor List	Select	Model Name Color Temp. —	BVM-E170	
Monitor ID	1 Connect		x 0.313	
IP Address	152, 148, 3, 1		y 0.329	
Probe Setup		Set to	Measured D	ata 👻
Probe		Offset	🕅 Auto Offs	et More Info
Status	X-Rite: 11 Pro / 11 Pro2 Konica Minolta: CS-200	Reference Luminance	CRT BVM-4	/F/D =
	Konica Minolta: CA-210 Konica Minolta: CA-310 DK-Technologies: PM5639/06 Klein: K-10		Y 100 Y 27	(Highlight) (Lawlight)
	JETI: specbos 1211 Photo Research: PR-655 / PR-670		Contrast/	Bright Hold On

リストから使用するプローブを選択してください。

ご注意

- 同時に2つのプローブは接続しないでください。
- 同期モードを搭載するプローブで、CRT モニターや有 機 EL モニターを測定・調整する際は、プローブの説明 書に従って同期モードを正しく設定してください。
- CA-210 または CA-310 を選択する場合は、あらかじめコ ンピューターとプローブを USB で接続しておく必要が あります。未接続の状態で CA-210 または CA-310 を選 択すると、「CA-210 not found./CA-310 not found.」のエ ラーメッセージが表示されます。
- PM5639/06 を選択する場合は、PM5639/06 が接続され ている COM ポートを選択する必要があります。 PM5639/06を選択すると使用するシリアルポートを選 択するウィンドウが表示されます。接続状態に応じて COM ポートの選択をしてください。
- K-10 または specbos1211 を選択した場合は、これらのプ ローブが接続されていると想定される COM ポートが表 示されたウィンドウが表示されます。必要に応じて COM ポート再選択をしてください。
- CA-210 または CA-310 が未接続でエラーとなった場合、 または PM5639/06、K-10、specbos1211 の COM ポート 選択画面で COM ポートが選択されなかった場合には、 起動時の「選択プローブなし(空欄)」の状態に戻りま す。

- K-10を選択する場合は、本ソフトウェアを終了するまで はプローブを抜かないでください。
- PM5639/06を選択する場合は、本ソフトウェアを終了 するまではプローブや通信ケーブルを抜かないでください。

プローブのキャリブレーション

選択したプローブが ilPro、ilPro2 または CA-210、CA-310 の場合、プローブを使用するためにはキャリブレー ションを行う必要があります。

プローブを選択してコンピューターがプローブの接続を 認識すると、「Calibrate」ボタンが有効になります。

File Maintenance	Help		
Setup		Measured Data	
Network	Colort	Color Temp.	x
network Adapter	Select		У
Connection Type	Peer to Peer Reconnection LAN	Luminance	Y Start Measuri
Monitor Selection -		Target	
Monitor List	Select	Model Name Color Temp.	BVM-E170
Monitor ID	1 Connect		x 0.314
IP Address	152, 188, 3, 1		y 0.351
Probe Setup		Set to	Measured Data 👻
Probe	X-Rite: i1 Pro / i1 Pro2	▼ Offset	Auto Offset More In
Status	Not Calibrated	Reference	CRT BVM-A/F/D +
	Calibrate		Y 48 (Highlight)
Information	YV7		Y 1.3 (Lowlight)
Picture Preset	Preset(D-Cine)		Contrast/Bright Hold On

1 「Calibrate」をクリックする。

キャリブレーションの準備が必要な場合、準備を促 すメッセージが表示されます。 表示されているメッセージに従ってキャリブレー ションの準備をしてください。

キャリブレーションが成功すると、「Status」が 「Calibrated」になり、色温度計測が可能になります。 また、ネットワーク設定が完了している場合には 「Adjust」ボタンが有効になり、色温度自動調整が可能に なります。

色温度を測定する

本ソフトウェアを使用して色温度を計測することができ ます。

計測を始める前にプローブの設定(10ページ)を行って ください。プローブの設定が完了すると色温度の計測が 可能(「Start Measuring」ボタンが有効)になります。

色温度と輝度の測定

三上、日川二十

「Start Measuring」をクリックすると色温度計測が開始されます。

, nonicorginato mine	17. N.				
File Maintenance	Help				
Setup			Measured Data		
Network			Color Temp.	x	
Network Adapter	Select			v	
Connection Type	Peer to Peer	Reconnection			1.
	LAN		Luminance	Y	Start Measurin
Monitor Selection			Target		
Monitor List	Salact		Model Name	BVM-E170	
測中					
測中 Monitor_AutoWhite File Maintenance	Adjustment Help	1	ŀ		
測中 Monitor_AutoWhite File Maintenance Setup	Adjustment Help	1	Measured Data		
測中 Monitor_AutoWhite File Maintenance Setup Network	Adjustment Help	4	Measured Data Color Temp.	x 0.315	
则中 File Maintenance Setup Network Adapter	Adjustment Help Select		Measured Data Color Temp.	x 0.315	
副中 I Monitor_AutoWhite File Maintenance Setup Network Mapter Connection Type	Adjustment Help Select O Peer to Peer	Reconnection	Measured Data Color Temp.	x 0.315 y 0.334	
到中 Monitor_AutoWhite File Maintenance Setup Network Network Adapter Connection Type	Adjustment Help Select © Peer to Peer © LAN	Reconnection	Measured Data Color Temp. Luminance	x 0.315 y 0.334 Y 118.2	Stop Measuring
則中 File Maintenance Setup Network Adapter Connection Type Monitor Selection	Adjustment Help Select @ Peer to Peer @ LAN	[Reconnection]	Measured Data Color Temp. Luminance Target	x 0.315 y 0.334 Y 118.2	Stop Measuring

計測中は選択しているプローブからデータを取得するた びに計測値を更新します。そのため、色温度計測の計測 間隔は選択しているプローブの性能に依存します。また、 色温度計測中は「Start Measuring」が「Stop Measuring」 と表示されます。この状態で「Stop Measuring」をクリッ クすると色温度計測を停止します。 また、色温度計測中はプローブの変更およびキャリブ レーションを行うことはできません。

ターゲット値のコピー

色温度計測の計測を行い、計測値を表示するテキスト ボックスに値が入っている場合、計測値をターゲット値 として設定できます。

「Set to」リストで「Measured Data」を選択すると、計測 値がターゲット値に設定されます。また、再設定する場 合には「Set to」リストで「Measured Data」を再選択し てください。



色度 x y : 計測値が そのままコピーされ ます。 輝度 Y: Highlight のターゲッ ト値に計測値の小数点第1位 を四捨五入した値がコピーされ ます。*¹ BVM-E/F シリーズで、 Lowlight のターゲット値が指 定できる場合は Highlight の ターゲット値から自動的に計算

され、入力されます。

*1 接続しているモニターが BVM-X、PVM、LMD、PVM-A、LMD-A シ リーズの場合は、「Y Adjustment」にチェックが入っているときに輝 度 Y のターゲット値に計測値の少数点第1位を四捨五入した値がコ ピーされます。

モニターの色温度を自動調整する

本ソフトウェアで色温度および輝度の調整が可能です。

ご注意

- ファンクションボタンの機能をすべて無効にして調整を 始めてください。
- LMDシリーズおよびPVMシリーズのモニターの色温度 を自動調整するには、モニターに映像信号を入力してい る必要があります。
- 調整精度は、プローブの性能や周囲の明るさに依存します。自動調整後は、目視による黒レベルと白レベルをご確認の上、必要に応じてブライトネス/コントラストをマニュアル調整してください。

調整目標となる色温度と輝度の値を設定す る

色温度のターゲット値を設定します。

ターゲット値の設定方法

ターゲット値の設定方法は3種類あります。

デフォルトのターゲット値を使用

Set to リストで表示されている項目から設定したいター ゲットを選択すると、デフォルトの値がコピーされター ゲットとして設定されます。

- 計測した色温度を使用
 色温度の測定を行っている場合は計測した色温度をター ゲットとして設定できます。計測値をターゲット値とし
 て設定する方法は、「ターゲット値のコピー」(11ページ)を参照してください。
- 直接入力
 テキストボックスに数値を入力して設定します。

ご注意

接続したモニターが BVM-E/F シリーズの場合、

「Contrast/Bright Hold On」にチェックが入っていると調 整終了後に調整前に設定されていた Contrast と Bright の 値が設定されます。

このとき、調整時に使用している Contrast と Bright の値 と異なるため調整終了時に色温度と輝度の計測をした場 合、ターゲット値とズレが生じる場合があります。

設定可能なターゲット値の範囲

接続しているモニターと設定状態によって設定できる ターゲット値の範囲が異なります。

BVM-E/F シリーズの場合

設定項目	ターゲット値の範囲
色度 x	入力信号が XYZ、または入力信号設定が XYZ 信
	号以外の場合:0.265~0.350
	入力信号が XYZ、または入力信号設定が XYZ 信
	号の場合:0.300~0.350
色度 y	入力信号が XYZ、または入力信号設定が XYZ 信
	号以外の場合:0.270~0.360
	入力信号が XYZ、または入力信号設定が XYZ 信
	号の場合:0.310~0.360
輝度 Highlight	Picture Preset が Preset(D-Cine) 以外の場合:40
	~ 150
	Picture Preset が Preset(D-Cine) の場合:20 ~ 72
輝度 Lowlight	Picture Preset が Preset(D-Cine) 以外の場合:0.5
	~ 9.9
	Picture Preset が Preset(D-Cine) の場合:0.3 ~
	4.8

BVM-X シリーズの場合

設定項目	ターゲット値の範囲
色度 x	$0.265 \sim 0.350$
色度 y	$0.270 \sim 0.360$
輝度 Highlight	$40 \sim 150$
輝度 Lowlight	$0.5 \sim 5.0$

LMD シリーズ、PVM シリーズ、LMD-A シリーズ、 PVM-A シリーズの場合

設定項目		ターゲッ	ト値の範囲		
	LMD シリーズ	PVM シリーズ	LMD-A シリーズ	PVM-A シリーズ	
色度 x	$0.001 \sim 0.999$	1	$0.265 \sim 0.350$		
色度 y	$0.001 \sim 0.999$		$0.270 \sim 0.360$		
輝度	$20 \sim 300$	$40 \sim 150$	$20 \sim 300$	$40 \sim 150$	

ご注意

- BVM-E/F シリーズではHighlightに入力した値に応じて Lowlightの値を自動設定します。Lowlightの値は変更 することも可能です。変更したLowlightの値を元に戻 したい場合には再度 Highlight を入力してください。
- BVM-X シリーズでは、User1、User2、User3、User4、 User5 のうち、ユーザーが設定した Color Temp. の Gain・Bias 調整値と、Contrast、Brightness 調整値が 調整されます。
- BVM-X、PVM、LMD、PVM-A、LMD-Aシリーズの場合、「Y Adjustment」機能は以下の動作になります。
 - -「Y Adjustment」にチェックを入れた場合
 色温度と輝度を調整します。
 色温度・輝度を、指定されたターゲット値に調整します。
 - 「Y Adjustment」にチェックを入れない場合
 色温度のみ調整します。
 色温度は、指定されたターゲット値に調整します。
 輝度は、調整前の輝度を保持します。
- PVM、LMDシリーズで輝度調整を行う場合は、「Y Adjustment」にチェックを入れる必要があります。また、モニター本体のユーザーコントロールメニューの 「サブコントロール」の「コントラスト」と「ブライト」 を初期値0に戻してください。
- PVM-A シリーズでは、色温度ユーザー2のゲイン・バ イアス調整値と、コントラスト・ブライトネス調整値が 調整されます。
- LMD-A シリーズでは、色温度ユーザー2のゲイン・バ イアス調整値と、コントラスト・ブライトネス調整値、 バックライト調整値が調整されます。

オフセット値の設定

ターゲット値にオフセット値(表示デバイス間の違いを 補正する値)を設定することができます。オフセット値 の詳細については「異なる表示デバイス間で色合わせを 行う際のご注意」(14ページ)を参照してください。 Set Toで Measured Data 以外の D65 などのプリセットを 選んだ場合、調整する機種に応じて最適な設定が自動選 択されます。その際のオフセット値はあらかじめ目安と なる値が設定されていますが、これを変更することもで きます。一度変更した値は自動保存されます。 また、変更したオフセット値は Maintenance メニュー バーから初期値に戻すことも可能です。

オフセットを設定しない場合

ターゲット値の表示は、次のようになります。



色温度のターゲット値はテキストボックスに入力されて いる値になります。

オフセットを設定した場合

「Auto Offset」にチェックを入れるとオフセット値を設定 するために必要な表示になります。

File Maintenance	Help			
Setup		Measured Data		
Network		Color Temp.	x	
Network Adapter	Select		у	
Connection Type	Peer to Peer [Reconnection]	Luminance	Y	Start Measurin
Monitor Selection	e Dan	Target		
Monitor List	Select	Model Name	BVM-E170	
Monitor ID	1 Connect	Color lemp	Set to x 0.313 + -	0.004 = 0.309
IP Address	192, 168, 3, 1		y 0.329 + -	0.013 = 0.316
Probe Setup		Set to	Measured Data	•
Probe	X-Rite: i1 Pro / i1 Pro2 🔹	Offset	V Auto Offset	More Info
Status	Calibrated	Reference Luminance	CRT BVM-A/F/D	•
	Calibrate		Y 100 (High	nlight)
			Y 2.7 (Low	light)
			Contrast/Bright	Hold On

オフセット値を変更したい場合には図の赤枠内の Offset の下側のテキストボックスに入力します。Set to と Offset の計算結果が Target の下に表示され、この値が調整ター ゲット値になります。Set to で Measured Data が選択さ れている場合には、Reference を選択できるようになりま す。Reference で 測定したデバイスを選択することで、そ のデバイスとの色合わせに適したオフセット値が自動設 定されます。

オフセット値を与えた場合の調整ターゲット値の制限に ついて

オフセット値を与えた場合でも調整ターゲット値の制限 を行います。ただし、制限を行う値の対象は Target の下 に表示されている値になります。(オフセット値を与えて いない場合には Set to のテキストボックスに入力されて いる値になります。)

プローブを設置する

調整や計測対象のモニターに対してプローブを設置して ください。

調整を開始する

「Adjust」ボタンを押すと、調整が開始されます。 「Adjust」ボタンを押した後、ターゲット値が設定可能な 範囲内であるかの確認が行われます。ターゲット値が範 囲外の場合は警告が表示されます。表示された警告にし たがってターゲット値の修正を行なってください。 調整中には次の画面が表示されます。

Darnet	Ŷ	0.311	- 2	0.328	Highlight	105	Lowlight	27
an Marr	2	9,8 U	- W	0.020	Construction of the	100	Lonnym	#20)
Current	х	0.311		0.327	Highlight	106.0	Lowlight	-

ご注意

調整が完了するまではキャンセル以外の操作はできません。「Cancel」ボタンをクリックすると「Adjusting Cancelled」画面が表示され、自動調整がキャンセルされます。

BVM-E/F シリーズでは、色温度の自動調整が完了すると 「Adjusting done」画面が表示されます。

異なる表示デバイス間で色合わせを 行う際のご注意

プローブを用いて CRT や LCD、有機 EL などの異なる表 示デバイスの色を測定し、同じ xy 色度に調整しても目で 見た色が異なることがあります。これはおもに表示デバ イスごとに発光スペクトルが異なるために生じると考え られています。ターゲットとなる xy 色度値にオフセット を加えて調整すれば、異なる表示デバイス間でほぼ同じ 見た目の色にすることが可能です。その目安*1 となるオ フセット値は次のとおりです。

BVM (CRT)、LMD (LCD)、LMD-A (LCD) を基準 とする場合

使用するプロー		測定するデバイス	
ブ	BVM (CRT), LMD (LCD), LMD-A (LCD)	BVM-L (LCD)	BVM-E/F、 BVM-X、 PVM、PVM- A(有機 EL)
ilPro, ilPro2	(xref, yref)	(xref, yref - 0.004)	(xref - 0.006, yref - 0.011)
CA-310* ²		(xref, yref - 0.004)	(xref - 0.006, yref - 0.011)
CA-210*2		(xref, yref + 0.005)	(xref - 0.006, yref - 0.011)
CS-200* ³		(xref, yref - 0.004)	(xref - 0.006, yref - 0.011)
PM5639/06		(xref, yref - 0.004)	(xref - 0.001, yref - 0.011)
PR-655、PR-670		(xref, yref - 0.004)	(xref - 0.006, yref - 0.011)
K-10		(xref, yref - 0.007)	(xref - 0.002, yref - 0.011)
specbos 1211		(xref, yref - 0.004)	(xref - 0.006, yref - 0.011)

BVM-E/F、BVM-X、PVM、PVM-A(有機 EL)を基準 とする場合

使用するプロー			
ブ	BVM (CRT)、 LMD (LCD)、 LMD-A (LCD)	BVM-L (LCD)	BVM-E/F、 BVM-X、 PVM、PVM- A(有機 EL)
ilPro, ilPro2	(xref + 0.006, yref + 0.011)	(xref + 0.006, yref + 0.007)	(Xref, yref)
CA-310* ²	(xref + 0.006, yref + 0.011)	(xref + 0.006, yref + 0.007)	
CA-210* ²	(xref + 0.006, yref + 0.011)	(xref + 0.006, yref + 0.016)	
CS-200* ³	(xref + 0.006, yref + 0.011)	(xref + 0.006, yref + 0.007)	
PM5639/06	(xref + 0.001, yref + 0.011)	(xref + 0.001, yref + 0.007)	
PR-655、PR-670	(xref + 0.006, yref + 0.011)	(xref + 0.006, yref + 0.007)	
K-10	(xref + 0.002, yref + 0.011)	(xref + 0.002, yref + 0.004)	
specbos 1211	(xref + 0.006, yref + 0.011)	(xref + 0.006, yref + 0.007)	

BVM-L (LCD) を基準とする場合

使用するプロー	測		
ブ	BVM (CRT)、	BVM-L	BVM-E/F、
	LMD (LCD)、	(LCD)	BVM-X、
	LMD-A (LCD)		PVM、PVM-
			A(有機 EL)
ilPro, ilPro2	(xref, yref + 0.004)	(Xref, Yref)	(xref - 0.006,
			yref - 0.007)
CA-310* ²	(xref, yref + 0.004)		(xref - 0.006,
			yref - 0.007)
CA-210* ²	(xref, yref - 0.005)		(xref - 0.006,
			yref - 0.016)
CS-200* ³	(xref, yref + 0.004)		(xref - 0.006,
			yref - 0.007)
PM5639/06	(xref, yref + 0.004)		(xref - 0.001,
			yref - 0.007)
PR-655、PR-670	(xref, yref + 0.004)		(xref - 0.006,
			yref - 0.007)
K-10	(xref, yref + 0.007)		(xref - 0.002,
			yref - 0.004)
specbos 1211	(xref, yref + 0.004)		(xref - 0.006,
			yref - 0.007)

^{*1} 使用するプローブの種類、個体差や観測者の目の個人差により見えかたは異なります。ここに示した値は参考値です。CCFL バックライトの LCD は BVM (CRT) を参照してください。

*² CH00 (Konica Minolta 校正基準)、D65、Univ. Sync.

*³ CH00 (Konica Minolta 校正基準)、Univ. Sync.

付録

エラーメッセージ一覧

表示される条件	メッセージ	原因と対処方法
プローブ切断	Probe disconnected.	色温度自動調整中にプローブとの通信ができなくなった状態です。
		プローブとの接続を再確認して、再度プローブのキャリブレーションを行ってから色温度
		の自動調整をやり直してください。
		備考
		色温度自動調整中に表示されます。色温度計測中にプローブとの通信ができなくなった場
		合には強制的に計測を停止し、プローブ切断状態に切り替わります。
		輝度センサーの校正中にプローブが抜けた場合にもこの警告が表示され、輝度センサーの
		校正が終了します。
キャリブレーション	Calibration error.	キャリブレーションが正しく行われませんでした。
の失敗		プローブへの電源供給とキャリブレーションを行える状態であることを確認後、再度キャ
		リブレーションを行ってください。
ネットワークの切断	Network disconnected.	本ソフトウェアとモニターがネットワーク経由で接続していることを確認できなくなった
		状態です。
		再度モニターとの接続設定を行ってください。
		備考
		色温度自動調整中または、輝度センサーの校正中にこの警告が表示されます。
		通常使用時の場合は「Adjust」ボタンが無効になること、または IP アドレスが表示され
		なくなることで確認してください。
モニターの接続失敗	Cannot find the monitor.	以下の原因が考えられます。
		① 設定したネットワーク上に接続対象の Monitor ID を持つモニターが存在しない。
		→「Show ID」ボタンをクリックして接続対象の Monitor ID を確認してください。BVM-
		E/F シリーズのみ BKM-16R の SINGLE ボタンの長押しで接続対象の Monitor ID を確
		認することができます。
		② 接続処理中に接続予定のモニターを見つけ出せなかった(接続処理のタイムアウト)。
		→BVM-E/F シリーズの場合、SDAP の以下の設定がデフォルトであることを確認してく
		ださい。(MENU> System Configuration > Network > Protocol Setting)
		• SDAP のポート番号が 53862 であること
		• SDAP がブロードキャストを許可されていること
		• SDAP の発行間隔が 15 秒であること
		③ コンピューターのファイアウォール設定
		→ファイアウォールの設定で、本ソフトウェアの通信が許可されていることを確認してく
		ださい。
		④ ネットワーク接続が正しく行われていない。
		→ネットワーク接続を確認してください。
プローブ読み値エ	Invalid value error.	プローブから取得した色温度または輝度の値が想定している範囲からはずれています。
ラー	Please check the probe.	 プローブが調整対象のモニターに正しく設定されているかを確認してください。
		 キャリブレーションを再度行ってください。
調整開始不可	Monitor not ready.	原因として以下のことが考えられます。
	Please check monitor status.	• 調整開始直前にモニターの設定が変更された場合
		→調整開始直前に入力信号または、Picture Preset が変更された場合このエラーが発生し
		ます。調整開始直前にチャンネル切り替え、設定変更、入力信号の変更は行わないでく
		ださい。
		• モニターが命令を受け付けていない状態の場合
		→モニターがスタンバイ状態の場合はスタンバイ状態を解除してください。
		→メニューが表示されている場合はメニュー表示を OFF にして、再度実行してください

表示される条件	メッセージ	原因と対処方法
CA-210 または CA-	CA-210 not found.	このエラーはコンピューターが CA-210 または CA-310 を認識していない状態で、使用す
310 非接続	CA-310 not found.	るプロープに CA-210 または CA-310 を選択したときに表示されます。
		以下の項目を確認後、再度フローフ選択を行なってくたさい。
		 CA-210またはCA-310用のドライバーがインストールされているか。 CA-210またはCA-310 ボワンピューターに接続されているか。
ターゲット値オー	Target Color Temperature x is	設定可能たターゲット値の範囲(12ページ)をオーバーしています。設定可能たターゲッ
バー	invalid value	放送時間はアープラーにの範囲(12 、 ファビオーブ・ じていよう。 仮送時間はアープラート値に設定してください。
	Target Color Temperature v is	
	invalid value.	
	Target Luminance Highlight is	
	invalid value.	
	Target Luminance Lowlight is	
	invalid value.	
	Target Luminance is invalid	
	value.	
オフセット値のデ	Cannot read SYSTEM file. Boot	何らかの理由でオフセット値のデフォルトファイルが紛失しました。
フォルトファイル紛	failed. Please read the operation	Monitor_AutoWhiteAdjustment を再インストールしてください。
矢	manual.	
	Initialization failed Please read	
	the operation manual.	
二重起動	Not allow several application	アプリケーションを二重起動している可能性があります。確認してもう1つのアプリケー
	activity.	ションを終了させてください。
モニターの状態の不	Change monitor setting	以下の原因が考えられます。
一致(BVM-E/F シ		① CH 切り替えにより発生した情報変更をアプリケーションが更新する前に調整を開始し
リーズのみ)		た。
		→ CH 切り替え直後に調整を開始しないでください。CH 切り替え後は1、2 秒程度待って
		から調整を開始してください。
		(2) 人力されている信号が変わり、Information を更新する変更が発生したがアフリケー ションボニの時期な再新して意に調整な開始した
		>ヨンがこの目報を更新する前に調整を開始した。
ターゲット輝度・色	Target adjustment is out of	毎年間の知識についたはりを変更してないてくれたしい。 6年間、「「「「「「「「」」」」 6年間、「「」」」 6年間、「「」」」 6年間、「」」、「「」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「
度に調整できない	range.	んでした。下記のいずれかを実施してください。
	Please try from the followings.	• バックライト設定を上げる/下げる*
	- [increase/decrease] backlight*	• ターゲット輝度を下げる/上げる
	- [decrease/increase] Y	• ターゲット色度を変更する
	- change (x, y)	* LMD シリーズ、LMD-A シリーズのみ表示されます。
		改善されないときは、キャリブレーションを再度行ってください。
	Adjustment failed.	色温度自動調整を試みましたが、調整できませんでした。
	Please try again.	モニターの設定やプローブの設置位置・状態を確認してください。
ターゲット輝度が高	Target luminance is too high.	ターゲット輝度が高すぎます。
すきて調整できない	Change the target luminance to	セニターのターケット輝度を現在の値より下げることで回避できます。
	a lower value.	フェアノT岬反は 14 いーンを参照してください。
	to less than xxx $cd/m2$.	
ターゲット輝度が低	Target luminance is too low.	ターゲット輝度が低すぎます。
すぎて調整できない	Change the target luminance to	モニターのターゲット輝度を現在の値より上げることで回避できます。
	a higher value.	ターゲット輝度は 12 ページを参照してください。
	Luminance should be targeted	
	to more than xxx cd/m2.	

表示される条件	メッセージ	原因と対処方法
調整前の輝度が調整 輝度範囲外のため、 調整できない	Current luminance is out of range. Current luminance is xxx cd/m2. Refer to the chart "Acceptable target value" in the user's guide. This can be accessed from "Help". Click "start measuring" and change the current luminance to within	 康凶乙刈処力法 現在のモニターの輝度が高すぎるか、低すぎます。 プローブで輝度測定しながら、測定輝度値が調整適正範囲になるまでコントラストまたは プライトネス調整値を下げるまたは上げることで回避できます。 輝度の範囲は12ページのターゲット輝度範囲内にあらかじめ手動で設定してください。
	these values.	
調整前の黒の設定状 態が調整できない値 にある	Contrast/Bright is invalid value.	黒の調整状態がつぶれているため調整できません。 以下の設定を行うことで回避できます。 PVM-A シリーズの場合、ブライトネス =50、R バイアス =0、G バイアス =0、B バイア ス =0 BVM-X シリーズの場合、Brightness=0、R Bias=0、G Bias=0、B Bias=0
選択している User Preset の色温度が User1、かつパス ワード設定 Password->Color Temp./User Pre.: 「On」のときに、調 整開始の「Adjust」 ボタンを押下した場 合	Monitor "Color Temp." setting is password-protected. Please enter the password and unlock "Color Temp./User Pre." from "Password Lock" of "Security" in the menu of the target monitor.	Color Temp. の Userl にパスワードロックが設定されている場合は「Security」メニューの「Password Lock」の設定を Off にしてください。
選択している User Preset が「User Preset1」、かつパス ワード設定 Password->Color Temp./User Pre.: 「On」のときに、調 整開始の「Adjust」 ボタンを押下した場 合	Monitor "User preset" setting is password-protected. Please enter the password and unlock "Color Temp./User Pre." from "Password Lock" of "Security" in the menu of the target monitor.	User Presetl にパスワードロックが設定されている場合は「Security」メニューの 「Password Lock」の設定を Off にしてください。
選択している User Preset の色温度が 固定色温度のとき、 調整開始の 「Adjust」ボタンを 押下した場合	Dxx setting cannot be overwritten. Please select one of "User1- User5" from "Color Temp." setting.	BVM-X シリーズでは、Color Temp. 設定が D65、D93、D55、D61、DCI の場合は自動調 整が開始されません。「User Preset Setting」メニューの「Color Temp. 」で User1、 User2、User3、User4、User5 のいずれかを選択してください。

トラブルシューティング

色温度自動調整が開始できない条件

モニターの状態によって色温度自動調整を開始すること ができない場合があります。この場合には「調整開始不 可」のエラーメッセージ(16ページ)が表示されます。 BVM-E/F シリーズはBKM-16R を、BVM-X/LMD/ PVM/LMD-A/PVM-A シリーズはコントロールパネルを 使用して色温度自動調整が開始できる状態に変更してく ださい。

色温度自動調整が開始できないモニターの状態例(BVM-E/F シリーズのみ)

- Select Area 画面表示中
- 二画面表示中
- Picture Adj 中(Auto、Manual Adjust の両方)
- Color Temp Adj 中(Auto、Manual Adjust の両方)
- キャプチャーセーブおよびキャプチャーロード中

Monitor_AutoWhiteAdjustmentの再イ ンストール

以下のエラーメッセージが表示された場合、自動で復帰 することはできません。本ソフトウェアを再インストー ルしてください。

- Cannot read SYSTEM file. Boot failed. Please read the operation manual.
- Cannot read SYSTEM file. Initialization failed. Please read the operation manual.

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/